

# 黒い雨体験者に対する不安軽減事業

社会福祉課 ☎823-9207 ㊟823-9627  
 県被爆者支援課 ☎513-3109

## 【事業実施に至った経緯】

被爆地域の拡大については、昭和51年に黒い雨降雨地域の一部が国によって「健康診断特例区域」に指定されて以降、国に対して黒い雨の降雨地域全体を指定するよう、さまざまな機会を要望してきました。

国は、平成22年に『「原爆体験者等健康意識調査報告書」等に関する検討会』を設け、平成24年7月に報告書が取りまとめられました。

その報告書では、「要望地域において健康被害の観点から問題となる広島原爆由来の放射線被爆があったとは考えられない」、「黒い雨を体験したと訴える方々に対し、不安軽減のための相談などの取り組みが有用である可能性がある」などの報告がありました。

国は、この報告書に基づき『地域の拡大は困難だが、実際に黒い雨を受けて健康状態に不安を抱いている方々に対するケアに向けた取り組みを行う』ことを決め、この事業を実施することになりました。

原子爆弾投下直後に降った黒い雨により、今も健康に不安を抱える人に対する相談・支援事業を新たに10月から開始します。

**対象**◆被爆者健康手帳、または第一種健康診断受診者証を持っていない方で、海田町などが被爆地域の拡大を求めた地域（下記地図）において原爆投下直後に黒い雨を体験し、健康不安のある方。

## 内容◆

①保健師相談（保健センターにおける相談）（※要申し込み。保健センター☎823-4418）

保健師が健康不安について相談に応じ、必要な助言、保健指導などを行います。

②専門医相談

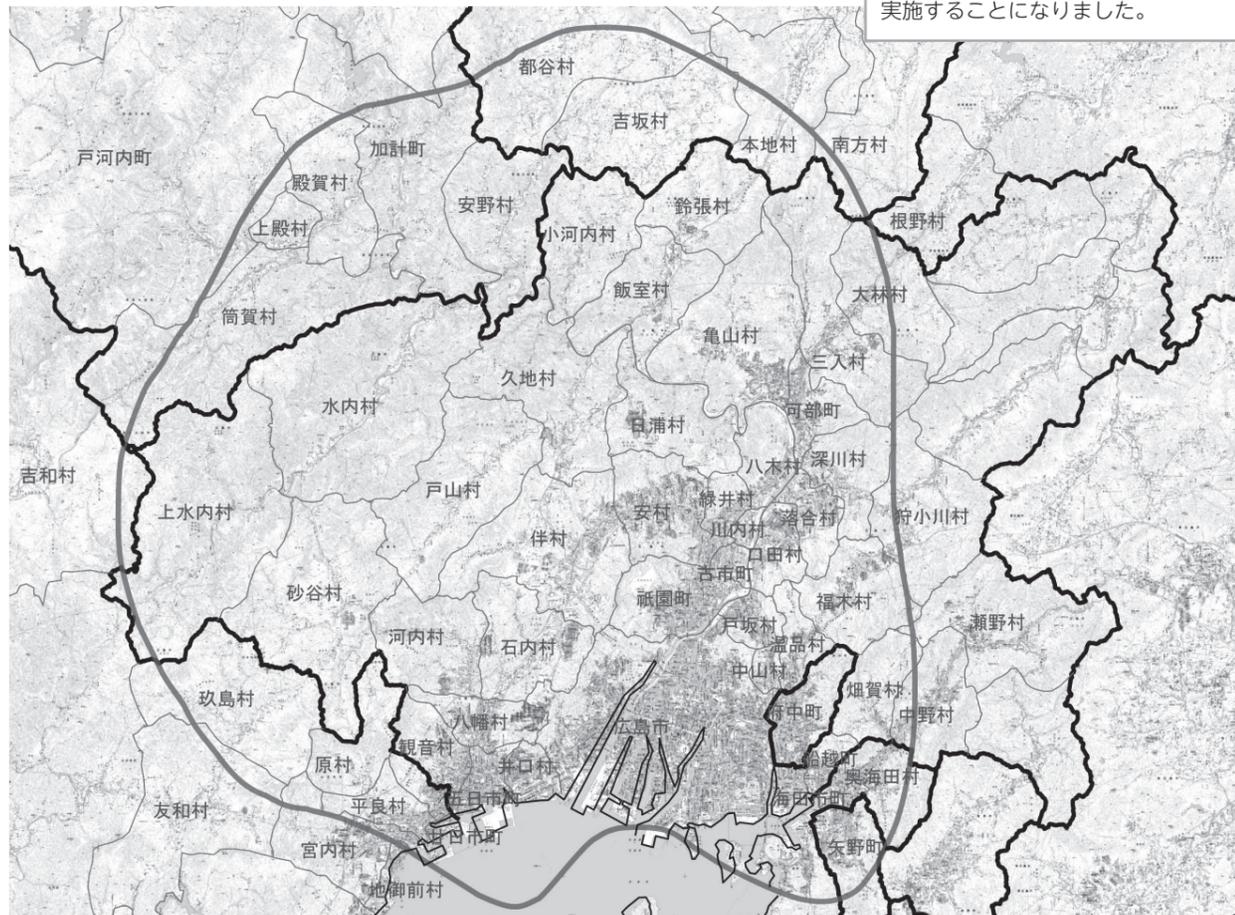
保健師相談の後、希望される方を対象に、専門医による医学的な説明・相談を行います。また、必要に応じて臨床心理士などによる精神保健面での相談も行います。（広島市中区で月1回程度実施）

③巡回相談会

保健師相談から専門相談までを一括して行う巡回相談会を開催します。（広島市安佐北区、安佐南区、佐伯区、安芸区において各1～2回開催）

④健康診断料の助成

専門医の相談の参考とするため、健康診査などを受診し、自己負担が生じた場合は、年1回に限り、後払いで助成を行います。



# ご長寿おめでとうございます

社会福祉課 ☎823-9207 ㊟823-9627

9月16日の敬老の日にあわせて、今年中に、77歳（239名）、88歳（76名）、100歳以上（9名）を迎えられる方に敬老祝金、75歳以上を迎えられる方2,720名に敬老祝品を贈りました。

また、今年度中に100歳を迎える2名の方には、内閣総理大臣から祝状と記念の銀杯が贈られました。

## 100歳以上を迎えられる皆さん

（生年月日順）

平成25年9月1日現在



いずの キミコさん  
伊豆野 キミコさん  
（明治41年1月生まれ105歳）



つばい ももよ  
坪井 百代さん  
（明治41年6月生まれ105歳）



えがしら はなこ  
江頭 花子さん  
（明治43年3月生まれ103歳）



はやた え  
早田 チエコさん  
（明治44年1月生まれ102歳）



うちた よしこ  
内谷 芳子さん  
（明治45年3月生まれ101歳）



かわだ よねこ  
河田 米子さん  
（明治45年3月生まれ101歳）



たがわ としえ  
田川 年枝さん  
（大正元年12月生まれ100歳）



なかの ちよこ  
中野 千代子さん  
（大正2年1月生まれ100歳）



くぼ きみこ  
久保 君子さん  
（大正3年1月生まれ99歳）



はしもと たいせい  
橋本 太成さん  
（大正3年2月生まれ99歳）